

第1回丸亀市都市計画審議会会議録	
開催日時	令和3年11月29日 午前10時～午前11時45分
開会場所	市役所 3階 303会議室
出席委員及び 関係委員氏名	出席委員 高濱委員(会長)、中島委員、豊島委員、森本委員、廣瀬委員、爲久委員、三谷委員、神田委員、武田委員、内田委員 欠席委員 紀伊委員(副会長)、池田委員、柳口委員、大西委員、竹田委員 傍聴者 なし 事務局 都市整備部長 吉本博之、都市計画課長 富士川貴、都市計画課副課長 真鍋裕章、都市計画課担当長 大関慎士、都市計画課 濱本拓也
会議の概要及び会議のてん末	
議 事	丸亀市景観計画の改定について
発言者	発言要旨
事務局 吉本	<p>1. あいさつ</p> <p>本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。</p> <p>平成17年に景観法が施行され、丸亀市は景観条例を平成23年に施行しており、「自然と歴史がふれあい潤いあるまち」を将来像として施策を展開してきました。年月の経過とともに、市の景観も変わってきたため、景観計画も見直しをしなければならぬと考え改定作業を行ってまいりました。市民の方が誇りを持ち、愛着を感じる丸亀らしい景観づくりを進めていきたいと考えております。</p> <p>今回、改定計画の素案が概ね固まったので、パブリックコメントを実施する前に都市計画審議会にてご意見いただきたいと思っております。本日はよろしく願いいたします。</p>
高濱会長	<p>2. 委員委嘱など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員委嘱</li> <li>・会長選出(高濱委員)、副会長(紀伊委員)</li> </ul> <p>3. 会長あいさつ</p> <p>再任となり、引き続きと務めさせていただきます。景観条例や景観計画について、中身を十分に理解しているわけではありませんが、本当に住みやすく、いいまち、発展していき未来に夢が持てるようなまちにしなければならぬと感じています。</p> <p>素案は事務局できちんと作ったものだと思いますが、計画をベースとして、将来に向かって実行していくことが重要であると考えます。</p> <p>忌憚のないご意見をいただきながら、身のある審議会にしましょう。</p>
	<p>3. 議事</p> <p>(1) 丸亀市景観計画の改定について (資料の説明)</p>

<p>三谷委員</p>	<p>&lt;意見交換&gt;</p> <p>例えば P33 において「市民が主役の景観まちづくり」とあります。市民の責務であり、また、市民の意見を聴くということは基本だと考えます。</p> <p>言葉として、市民協働、意見を聞くなど、よく書かれています。どれだけ協働、参画してやっていこうという意識を持った市民がいるか疑問に思います。景観という言葉の意味は、市民もある程度分かっていると思いますが、よりよくしていこうと思っている人がどれだけいるかが問題かなと思います。</p> <p>市民会館建設の際も、意見を聞こうという取り組みはありましたが、市民会館という身近な施設の話題でありながら、なかなか意見が出ないという現実があります。</p> <p>法律や条令、計画、初めて拝見して非常に立派にできていると思いますが、市民に対する広報活動が非常に大切だと思います。議員の方にも広報活動をしていただき、実りあるものにしていただきたいと思います。</p>
<p>高濱会長</p>	<p>例えば、まちなかにピンク色のビルができるのは許してはいけない、という考えは共通しているということに対して、きちんと広報していただくことが大切であると思います。</p>
<p>爲久委員</p>	<p>前回の計画より相当バージョンアップしていると思います。体系立っていてわかりやすくなりました。</p> <p>気になる点が 3 点あります。</p> <p>1 点目、理念的なものは示されていますが、ロードマップ、KPI といったことが示されていません。</p> <p>2 点目、市民マインドを変え、市民が主体的に取り組むようにしていかなければならないと思います。アドプト制度など、市民を巻き込むということに関して非常に進んでいるまちがありますが、そういうことを進める、もしくは文言として書く必要があるのではないかと考えています。</p> <p>3 点目、スマートシティ、コンパクトシティ、ユニバーサルデザインなど、最近の社会潮流的な内容にある程度ふれておくべきではないでしょうか。</p>
<p>高濱会長</p>	<p>素案の P2 に位置づけが書かれていますが、丸亀市総合計画で今のような議論があつてしかるべきで、この景観計画でそこまで踏み込むかという点と違つかもかもしれません。市に判断してもらいたいと思います。</p>
<p>神田委員</p>	<p>計画は実行性がないと意味がありません。市民を巻き込むというのは、とても重要なことであり、フォトコンテストであっても、誰が見て、誰がやるものなのか、そこまで書かないと書いて終わってしまうのではないのでしょうか。発信をするものであれば、この時代、インスタグラムは必須だと思います。</p> <p>放置自転車、ため池やごみなど、問題があり解決できていないものがあります。そこを改善して、ハコモノを整理していかなければならないのではないのでしょうか。</p> <p>歴史についての記載の中で、中津万象園が入っていないが入れてほしい。</p>
<p>高濱会長</p>	<p>実効性について担保されていないと何も書くことができない、となってしまうのも困ると思います。また、これをやったから、こういう解が出るというものでもありません。そこについてはご理解いただきたいと思います。</p> <p>山についての配慮に関する記載がありますが、現在、山を削って太陽光発電を設</p>

	置しているが、それを規制することも含めた議論なのかお伺いしたいのですが。
事務局 大関	極端な話になると、景観と経済活動のどちらをとるのかという話になると思います。罰則をかけるとかまでは踏み込めない状況と考えています。市としての思いを伝え、啓発するに留まると考えているところです。
高濱会長	これはやってほしくないということを是非発信してほしいと思います。
豊島委員	田んぼの真ん中にピンクの建物が建ち、山が見えなくなるということもあるかもしれません。実行できないと一市民としては意味がないと思われれます。
高濱会長	ルールを守らなくてもいいことにならないようにしてほしい。広報活動をお願いしたい。ホームページを見てください、というだけでは難しいと思われれます。
三谷委員	10年前から大きく変わったのは、環境問題であると考えています。市民として何が出来るかという緑化なのではないでしょうか。市が苗木を渡すなど様々な方法があると思います。 公園をつぶして駐車場になるような事例があります。 駅前が緑が少なくなっています。それは管理を誰がするのかという問題になるからだと思います。うるおいのあるまち、緑のあるまちづくりを進めていただきたい。 土器川は国の管理で、公園は市の管理だが雑草も茂っている状況となっています。
高濱会長	この場でこういう意見もあったということで、総合計画の方で議論いただきたいと思えます。
内田委員	市民が動かざるをえないような仕掛けについて、私も勉強したいと思えます。 以下、計画の気になる点です。 P28：目標を書くのであれば、市民に届かなければならない。耳に入りやすいものにするのはどうか。 p29：「取組」と「取り組み」など記載がばらばらなので修正が必要。 P33：基本的な施策について、項目の見せ方にメリハリがなくわかりにくい。 P36：囲みは、事例など計画の主となるものではない内容だと思う。コラム風にしてメリハリをつけるのはどうか。 p41：「おもてなしの景観」という言葉がわかりにくい。 P56：どれが計画本体でどれが添え物なのか、※印がよくわからない。 計画を作っても、市民に届かないということがよくある。届けるための工夫が必要となります。読む気持ちになるものをぜひお願いします。
高濱会長	インスタグラムの話も出ました。観光も全庁での横断的な取り組みだと思えますが、景観も横断的に是非取組をお願いします。
高濱会長	指摘を反映してもらいたいと思えます。
森本委員	無電柱化を進めるためにということをごどこかに示してほしい。これまで10年景

高濱会長	<p>観を守ってきたということを示していただければよいと思います。</p> <p>具体的にするという予定があれば、ぜひお願いします。</p>
豊島委員	<p>エリア分けだが、現行計画から引き継いでいると思います。臨海エリアの工業団地は、津波の心配で離れる人もいる状態です。ある程度、内側で集まって配置するエリアを作ってはどうか。</p>
高濱会長	<p>都市計画として検討していただきたいと思います。</p> <p>4. 今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会への報告を行った後に、12月下旬あたりからパブリックコメントを実施、1月末ごろに意見集約し、案のとりまとめ、2月ごろに景観審議会にて最終案を確認いただく予定です。</li> <li>・ 3月中に市民向けに公表し、事務を行っていきたいと考えています。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(以上)</p>